

# あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター  
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1  
愛知県東大手庁舎 1階  
TEL：052-954-6722  
FAX：052-954-6993  
開館：月～金 10～17時



## タイトル「どうぶつ小学校」



(小学校2年生 三原愛梨 さん)



# リレートーク



震災から4年が過ぎ、愛知県に避難している方たちは今、どんなことを感じ、何を考え、何をしているのでしょうか。共感や新たな気づき、次につながる何かを見つけるきっかけになって欲しいという思いで、同じ愛知県に避難している方の今をリレー形式で紹介していきます。

## いわきスタディツアー（1泊4日）に参加して

### ●吉田さんが私の故郷を訪れて素直な気持ちを伝えてくれたことがきっかけ

昨年11月頃、定期便でインディアン吉田さん企画の「いわきスタディツアー」への参加のチラシを見ました。その時は原発関係者だけのツアーだと気にも留めない自分がいました。4年前、岩手県陸前高田に住んでいて、主人はじめ親類近所の方々、自宅等何もかも失くし、この愛知に避難してきた方々とは、あの日を境に運命が変わってしまった当事者同士「運命共同体なんだ」との思いがありました。

しかし、次第に私の心の中では、原発で被災したのと、津波で被災してきたのでは「何か違う」と距離を置くようになってきました。

そこへインディアン吉田さんが昨年の歳末に宮城・岩手そして私の故郷陸前高田を訪れた際の素直な気持ちを伝えてくれたことで「私もツアーにぜひ参加し、自分の目で見て五感で感じなければ」と思い東北支援を続けている愛知の仲間たち10人と参加しました。

### ●来て見て自分の足で踏みしめ感じなければ何もわからない

アースディいわきの皆様と平均年齢65歳の私達仲間での1泊4日の弾丸ツアーが始まりました。初日、小名浜での素晴らしい日の出に迎えられ、立派な小名浜漁港市場があるのに、試験操業しかできない現実、富岡町の帰還困難区域と準備区域が道路一本で分けられている現実、立派な街並みが残っているのに人気の全くない現実、除染で出た廃棄物があちこちにある現

実。4年も経つのに津波で被災したままの建物等を目の前にして、そこで生活していた人々、亡くなった人々のくやしさを、辛さ、痛み、叫びが感じられ、たまらなくなりました。

吉田さんはじめ、地元の方達の言葉で説明を受け、学ばせてもらい、やはり、来て見て自分の足で踏みしめ感じなければ、何もわからないんだということを再確認しました。

吉田さんの良き理解者であり、背中を押してくれた地元の仲間達が前向きに生き生きと役割を持って生活されている姿、福島をこよなく愛するスパリゾートハワイアンズのダンサー達の見事な踊りと歌、いわきサンシャインマラソンを地元の大勢の方々と一緒に応援、久し振りの懐かしい東北の食べ物、アースディいわきの若者達の結束等々、本当に素晴らしい体験をさせていただきました。

### ●同じ思いを持つ同士繋がりを大切に

放射能という見えない脅威に戻りたくても戻れない苦悩、住み続ける選択、これからも様々な問題が出てくるだろう辛さ。この現実を目の当たりに、私は改めて同じ思いを持つ者同士が応援し、応援される関係づくり、繋がりを大切に、「震災を忘れないで。他人事ではないよ。」未来へ負の遺産を残してはいけないとこれからも訴え続けていきたいと強く思いました。

アースディいわき実行委員の皆さん、連れて行って来てありがとうございます。

(知多市 鶴島道子)

## 全体交流会報告（相談会・交流会）

### 全体交流会に参加して

- 愛知県臨床心理士会より -

三河湾リゾートリンクスにて開催された全体交流会には、今年も臨床心理士3名が出席させていただきました。相談コーナーへの参加と同時に、交流会のテーブルにもお邪魔しました。交流会のほうでは、健康ノートの説明を熱心に聞かれています。ご様子から、見えない放射能への不安を抱えていらっしゃることを実感いたしました。別のテーブルではリラックスしてお話ししていらっしゃる方たちの輪に加えていただき、交流会が皆さんの大切なつながりの場となっていることを感じました。初めて参加された方も新しいつながりを得られたことを願っています。

相談会では3名の臨床心理士で合計9件のご相談に対応しました。長い間つらい気持ちを抱えながらも「人に相談するのは今回が初めて」とおっしゃる方が複数いらっしゃり、相談をするのはなかなか大変だということを改めて思います。

「こんなことで相談していいのか」と悩まれる方が多いようです。小さなことと思うようなことでも、心配や不安が積み重なって、心や身体に影響が出て来るのだと思います。震災に関係がないと思うようなことでも、お話しして下さってかまいません。交流会などの機会のほかに、被災者支援センターなどを通じて、相談の窓口をご紹介することもできます。皆さんが利用しやすいようにご案内をしていきたいと思っております。

（愛知県臨床心理士会 今村・坪井・中村）



### 4年分の記憶の整理 ～「健康ノート」に書き込んで変わったこと～

2011年に東京電力(株)福島第一原子力発電所が核爆発を起こしてから4年。どれだけの大変なことがあったでしょう。「つらい記憶もあるし思い出したくない」気持ちは痛いほどわかります。でも大量の放射性物質を吸い込まされた私たちは、被曝をなかったことにはできません。しなくて済んだはずの被曝をさせられたことによる影響は、遠くない将来に、心身にでてきてしまうでしょう。そこでまだ覚えているいまのうちに、爆発当初のことや、現在のちょっとした不調などを「健康ノート」に書き込みます。

これには4つのメリットがあります。①病気になったときの診療や因果関係の証明に生かす②わが子に被爆と防御の事実を文字でのこしてあげる③カルテ編の内容をデータ化し、放射線との因果関係を調べ、今後の対策に役立てる（同意する人のみ提供）④「健康ノート」に覚えさせれば普段は忘れていられ、必要な時いつでも自分ですぐに確認可能。

どんな考えで行動したか、その時々体調はどうだったか。それを自分自身で書き込み、知識と合わせて振り返りをする事で、これからの行動を考えられる「健康ノート」。複数の医師が編集したもので、巧みな資料も付いてきます。書きたい方は、愛知県被災者支援センターまで（数量限定）。生きてる 生きてく 記録を あなたも。

（健康ノート記録 松井和子）



# 全体交流会報告

## 健康相談

今回、全体交流会での医療相談に参加し、4人の方から相談を受けました

### (1) 甲状腺検査の結果をどうみるか

「嚢胞が子どもには多く見られたが、自分たち親に嚢胞はない、どうしてですか？」定期的に受診し検査を受けられている方の質問でした。おそらく、受診のたびに何度も質問されてみえるのでしょう。嚢胞と被ばく放射線の関係はないという答えが多いのではないのでしょうか。私たち医師は、原因を細かく分析したり、実験して証明しなければ原因としないという考え方で教育を受けています。しかし、原因（被ばくと嚢胞の間の因果関係）は疫学によって証明されるものです。このためには、キッチンと検査を行えば答えが出てくるものです。今回の相談会では「今までの報告を見る限り、まだわかっていない、しかし一緒に考えていきましょう。」と答えました。

### (2) 頭痛についての質問

筋肉の緊張からくる痛みと思えましたので、「大事な病気ではなく、体操や温めたりするといいでしょう。」と答えました。しかし、これで終わっては、なぜ緊張しているのかは見えません。「生活はどうでしょうか?」「食事はきちんと

と取れていますか?」「よく寝られますか?」などを聞いてみました。「朝ごはんは食べない。」との答え。「どうしてですか?」「工作中トイレに行かないで済むから。避難して見つけた仕事は非正規で、不安定だ。」「子どもさんは食べていますか?」「朝早く起きて、子どもの食事はキッチンで作って食べさせています。」避難してきて3年過ぎてもまだ生活が安定しない。健康の社会的決定要因という中で、社会的格差ストレスが健康に関わる基本的要因と言われます。生活の安定が損なわれている避難生活を行政が解決すべきだと強く思いました。また、社会的決定要因の一つに社会的支援、ネットワークが大事だと述べられています。このような交流会はとても大事なとりくみだと強く思いました。

小児科医の立場から、放射能の影響を心配し関東地域から愛知に避難している家族への健康相談にこのたび初めて参加させていただきました。2時間で3家族からお話を聞き、被曝に伴う病気の心配や日常の留意すべきことなど病院での診察ではゆっくり説明ができずにいたことが、一応満足のできるくらい時間がとれて話ができただのはよかったですと思います。

(医師 早川純午、山本節子)



# 全体交流会報告

## 全体交流会に相談員として参加して

回を重ねるごとに参加される方が増え、皆様が年に一度の交流会を楽しみにされているとお聞きしました。会場となった三河湾リゾートリンクスでは「大交流会」にふさわしく、大勢の方が互いに声を掛け合って和やかな雰囲気でした。故郷を同じくした親戚の集いのような強い絆を感じましたが、被災直後の体験を昨日のここのように話され、改めて被災された方々の想いが伝わってきました。

相談会には高齢者制度の相談員として参加させていただき、他制度のサブとしてもお話を伺いました。相談者の中には情報が伝わっていないが為に、利用できるはずの制度を利用できず、負担が大きくなってしまわれた方がみえました。せっかく制度があったのにと残念に思い心苦しく歯がゆい思いをしました。

まずは誰かに相談しないとほじまりません。人に頼らなくても自分が頑張れば良いとか、こんなこと人に話したら恥ずかしいとか思わずに、何でも良いので自分から発信してみてください。地域には必ず設置されている地域包括支援センターという所があります。あなたのお話をよく聞いて、解決できる所へ繋げてくれる所です。

誰かがあなたの力になってくれるので、自分の思いを発信してみましょう。

(ケアマネージャー 白井邦枝)



## 全体交流会に参加して

外国人支援・通訳として外国人参加者の交流や相談がよりスムーズになるようにということで初めて参加をさせていただきました。

最初にリラクゼーションコーナーの事をお伝えすると、ぜひ体験したいということで、複数で一緒に会場へ。どの方もアロママッサージは生まれて初めて。とても気持ちがいいとおっしゃっていました。「気持ちがよくてなんだか頭がよくなるみたい」とおっしゃった時には、その場にいたみんなで大笑い。楽しいひと時でした。

相談会では、付き添いを希望された方に同席しました。広範囲に渡る専門家が愛知県のような地域から参加しており、専門分野と地域における情報の両方に対応していただくことができました。1人の方の相談に対し、相談内容が変わるごとに専門家が入れ替わり、さらにはその方の暮らす地域に詳しい方が加わり、専門家、地域性、通訳の三者での支援、アドバイス、情報提供となりました。このような充実した体制での相談会は私自身初めてでした。

一泊二日のゆったりとした時間の流れの中で行われる相談会はより深い相談ができ、交流も深まることを感じました。外国人参加者のみなさんも「来てよかった」「相談ができてよかった」とおっしゃっていました。このような安心して話ができる場を今後も作っていききたい、日常の中でも支えあえる関係を作っていききたい、そのために私にできることは何かを考える時間ともなりました。ありがとうございました。

(通訳等外国人支援  
神田すみれ)



# 全体交流会報告（アンケート）

全体交流会に参加者された方に無記名自由記述方式のアンケートをお願いしました。約 80%にあたる 73 世帯の方からご回答がありました。ご協力いただき、ありがとうございました。

皆様からの回答内容を種類ごとにまとめましたので、ご覧ください。

## 1 感想

### 1-1 交流会全般

#### A：全体交流会を開催できたことへの評価

- \*来年もどうか続きますように。／またこのような機会を設けていただけるとありがたい。（多数）
- \*子どもが小さく、他の交流会はなかなか参加できないので、全体交流会を本当に楽しみにしている。（多数）
- \*色々な方々の協賛があることは、私たちのことを忘れないでいてくれることであり、とても嬉しく心強い。
- \*全体という規模でまとめて開催されたことを感謝している。

#### B：たくさんの人と交流でき心強い・全体会だからこそ会える人がいる

- \*この時でない则会えない方と交流ができ充実した時間が持てる。／年一回現状がわかり、とても助かる。（多数）
- \*生活の立て直しに必死で今回初めて参加した。こんなにたくさん避難者がいることに驚き、心強く思う。
- \*やっと今回はじめて参加する気持ちになってくれた人もいて、とてもうれしい。何よりも心の復興が重要。
- \*相談もできたし、同じ体験をした人たちと知り合うことができ、来てとてもよかった。
- \*初めての人と仲良くなり、顔見知りの人ともお酒を飲みながら色々お話できるのは大交流会ならではの。
- \*同郷の方々にお会いできて、同じような思いをしている方に会い、一人ではないと実感できる。
- \*4年経ち、異なる考え方を受け入れられず、グループ割れや排除がある状況があったが、避難移住の苦しさを抱えてしまうことが同じようにわかるという気持ちに立てるようになった（といった旨）。
- \*2回目の参加だが、1回目より心の交流を感じて、人と人との関わりの温かさと慰めは大切だと思った。

#### C：重い話・深い話ができる機会

- \*日常はあまり意識せず暮らしており、その方がよいと思っているが、折々に深く突き詰める場を持つことも大切と思う。子どもが様々な感覚・考え方を知り、自分なりに考える道筋を得てほしい。
- \*久しぶりに震災の話をした。普段そのことを話題にしなくなり、被災者同士もたわいない話もできるようになったが、やはり震災のことは一生忘れることができないんだと再認識した。
- \*普段こんな話できていないなあ、重い話だけど話せることはよいことだと思った。
- \*夜遅くまで語り合うことができ、真剣に本音をぶつけ合うことができる関係を築けていると再確認した。

#### D：心の張りが生まれる／これからのことを考える力に

- \*これで毎日の生活にも張りが出て頑張れる。／みんなで集える時間が明日を生きる力になる。（多数）
- \*久しぶりにお会いできた方々もそれぞれに方向性を確立されている様子もうかがえた。単なる避難者ではなく、提言者・語り部として経験してきたことの意味を伝えていきたいと思う。
- \*もっとハツラツとして生きるイメージを持って社会のために働いていくことで、皆さんの暖かいお気持ちに応えることができればと思う。
- \*自分と同じようにリラックスできた人がたくさん居たらいいなと思いながら、今後のことを考えていきたい。

# 全体交流会報告

## 1-2 プログラム・設備等

### A: 託児

- \*子どもは託児で高校生の方とマフラーや雛人形をつくったり、大はしゃぎでした。
- \*高校生のお兄さんがとても親切で、子どもの遊び相手をしている姿はほのぼのとした気持ちになった。
- \*託児が充実していて大人同士が交流することができ、子どもも楽しい時間を過ごすことができた。

### B: 相談

- \*専門の先生方に相談にのっていただけるとは本当にありがたい。
- \*松井先生ご夫妻を中心に、色々な方がとお話しでき、楽しく有意義だった。
- \*交流会の参加者が少なく残念。せっかく専門家が来て下さるのに。私はもっとたくさんの専門家の先生の話を知りたい。

### C: 体験コーナー・リラクスキョーナー

- \*ゆっくりマッサージや相談もできて、本当にありがたい。
- \*石鯨づくりなどの体験コーナーは大人も子どもも楽しめた。

### D: ホテル・設備・食事

- \*食事にお刺身が多く鮮度のよい魚を食べたかったのでとてもうれしかった。
- \*産地表示のお心づかいでおいしくいただきました。お土産も外国産でお心づかいを感じました。
- \*会場が前年度と同じ場所でリラックスできた。

### E: その他

- \*少しずつ自分たちで自立し運営できるようになったらいいと思う。大人の参加費を取ったのは賛成(多数)。

## 2 指摘・改善点

### A: 交流・情報交換の仕方

- \*出身別毎のテーブル、簡単な自己紹介があればさらに交流が深まるかもしれない。
- \*食事時に自由席になっていたため、参加者の一部に困った様子が見られた。
- \*他のグループの活動についても発表の場がほしい。つながっていくことに大切さがあるから。
- \*多くの人と一緒に会える場なので、皆が日頃得た情報をとりまとめ、それを配布提供する等はできないか。
- \*避難して時間が経ち、一人ひとりが自立へ向けていかなければいけない。前向きな声、後ろ向きな時はどうしているか。生活の悩み、会計の工夫等について話せるとよい。

### B: 受付・プログラム周知・運営

- \*交流会について周知できていなかったのか、お部屋に行かれる方が多く残念。話が進んできた時にバンド演奏が入ってしまったので、大勢がそろい鍵を渡す時にバンドがあるとよかった。
- \*受付からお土産渡しの流れがわかりにくかった。託児の受付もわかりにくく不安だった。

### C: 食材表示・その他食事に関して

- \*産地表示がおおまかすぎて、産地公開されていないものもたくさんあった。ホテルは産地と製造所の違いがはっきりしていない様子だった。センターから食べ物のことは事前に伝えていただけるとありがたい。
- \*難しいかもしれないが、安心して子どもに食べさせられるものが少ない。他の子が食べているのに…とあきらめなくてはならない人をよく見た。もう少し事前にお知らせがあれば対応できた。



新鮮&安心な食材と出会いたい!

# あいちの産直施設 お出かけガイド

第10回  
岡崎・蒲郡・幸田の巻



【最終回】編集:あおぞら編集部

西三河～東三河にわたるこの地域は、八丁味噌（岡崎）、みかん（蒲郡）、筆柿（幸田）が有名ですが、他にも、三河湾のアサリ・メヒカリ等の海産物、中山間地の額田でお米（ミネアサヒ）やお茶（宮崎茶）も生産され家庭で美味しくいただけます。品揃え豊かな産直施設が多いのもうれしいところです。

昨年6月号の名古屋を皮切りに、愛知県各地の産直施設を紹介してきた本シリーズも、今回が最終回となりました。旬でおいしい農産物、生産者がわかり安心できる食材、楽しい農業体験や調理教室等に出会える場として、これらの情報が皆さんの日常や週末の暮らしに少しでもお役に立てたら幸いです。



**ピックアップ** ②ふれあいドーム岡崎 TEL 0564-43-0123

営業時間: 4月～9月 9:00～18:00 / 10月～3月 9:00～17:00 【年中無休】

岡崎の北部にある「農遊館」と共に、南部にある円形ドーム型の産直施設です。今の旬は、なばな、ブロッコリーや、キャベツ、レタス、わけぎ、新たまねぎといった春野菜。こうした旬の農産物について、試食会など生産者が主催するイベントも開かれます。直近は、4/17(金)～19(日)開催の、ドーム15周年祭。野菜の詰め放題や抽選会もあります!

▼公共交通: 名鉄バス: 下青野経由西尾行き / 下青野経由中島行き「南部福祉センター」下車)



## ●耳より情報 その時々旬の野菜や県内の産地を調べるのに便利です!

野菜や果物の品目ごとに出荷時期や産地が検索できる「愛・地産アラカルト」は、覚えておくと便利なサイト。地域特有の伝統野菜の紹介、地産野菜を使ったレシピも掲載。

▼URL <http://www.pref.aichi.jp/engei/aichisan/index.html>



## 岡崎・蒲郡・幸田の産直施設

No	施設の名称	所在地住所	休業日	営業時間	連絡先
①	おかざき農遊館	岡崎市東阿知和町字乗越12	年中無休 (1/1～1/4除く)	4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00	0564-46-4700
②	ふれあいドーム岡崎	岡崎市下青野町字天神77	年中無休 (1/1～1/4除く)	4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00	0564-43-0123
③	JAあいち三河 グリーンセンター長瀬	岡崎市橋目町字遠山31-1	年中無休 (1/1～1/4除く)	9:00～18:00	0564-31-9232
④	JAあいち三河 ハイラッセぬかた	岡崎市榎山町字八ツ田39	日・祝日 (年始除く)	4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:30	0564-82-4585
⑤	道の駅藤川宿	岡崎市藤川町字東沖田44	年中無休	9:00～18:00	0564-66-6031
⑥	蒲郡オレンジパーク	蒲郡市清田町小栗見1-93	年中無休	9:00～17:00	0533-68-2321
⑦	JA蒲郡市 Aコープかたはら	蒲郡市形原町東欠ノ上24-1	水曜 (1/1～1/4除く)	9:00～19:00	0533-57-8171
⑧	JA蒲郡市グリーンセンター蒲郡	蒲郡市宮成町1-30	水曜 (1/1～1/4除く)	9:00～18:00	0533-68-8080
⑨	幸田憩の農園	幸田町大字大草字上六條22-1	年中無休 (1/1～1/4除く)	9:00～18:00	0564-62-4339
⑩	道の駅 筆柿の里・幸田	幸田町大字須美字東山17-5	年中無休 (年末年始除く)	4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00	0564-63-5171

●愛知県で把握しているこの地域の産直施設で営業期間が長いものを上記で紹介しました。県農林政策課 (TEL 052-954-6395) が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」では 300 もの全施設がご覧になれます。URL <http://www.pref.aichi.jp/000003150.html>



# 旬のお出かけ情報

～ 桜の名所 ～



段々とぽかぽか陽気の日が増え、今年も桜の季節がやってきました。春のお出かけ日和に桜を見ながら、散歩するのもいいですね。

今号では、尾張北部から渥美半島まで県内各地の桜が綺麗に咲き誇るスポットを集めました。例年、4月上旬頃までが見頃です。ぜひお近くの桜を見にお出かけください。



岡崎公園の桜

桜スポット	見頃	スポット紹介	問合せ先
<b>桜ネックレス</b> 稲沢市平和町	3月下旬～ 4月上旬	全国から集められた約60種1,400本の里桜が植栽されています。	0567-46-1111 稲沢市平和支所
<b>五条川河畔</b> 岩倉市昭和橋(東町)～彦田橋(下本町)	4月上旬	尾北自然歩道沿いに約1,500本もの桜並木が続いています。 日本さくら名所100選。	0587-66-1111 岩倉市商工農政課
<b>落合公園</b> 春日井市東野町	4月上旬	「日本の都市公園100選」の一つに数えられる憩いの公園。	0568-85-6281 春日井市公園緑地課
<b>鶴舞公園</b> 名古屋市昭和区鶴舞	3月下旬～ 4月上旬	約1,000本の桜が園内をピンク色に染めます。日本さくら名所100選。	052-733-8340 名古屋市緑化センター
<b>山崎川</b> 名古屋市瑞穂区石川橋～新瑞橋	3月下旬～ 4月上旬	川の両岸にソメイヨシノの桜並木が延長約2.8kmに渡り続く光景は情緒満点。 日本さくら名所100選。	052-831-6161 瑞穂土木事務所
<b>雁宿公園</b> 半田市雁宿町	4月上旬	半田市街地や衣浦湾を一望できる公園内に桜が一斉に咲きます。	0569-84-0665 半田市公園緑地課
<b>鞍ヶ池公園</b> 豊田市矢並町法沢	3月下旬～ 4月上旬	公園全体で約1,500本、特に「桜園」には約25種70本の珍しい桜があります。	0565-80-5310 鞍ヶ池公園管理事務所
<b>岡崎公園</b> 岡崎市康生町	4月上旬	岡崎公園とその周辺の乙川・伊賀川堤に約1,000本ものソメイヨシノが咲き誇ります。日本さくら名所100選。	0564-23-6217 岡崎市観光協会
<b>桜淵公園</b> 新城市東入船、桜淵、庭野	3月下旬～ 4月上旬	ソメイヨシノ、山桜、八重桜など約2,500本の桜が咲き誇っています。	0536-32-0022 新城市観光協会
<b>滝頭公園</b> 田原市田原町西滝頭	4月上旬	滝頭山の東麓に広がる公園の周辺には約3,000本を数える桜が咲き誇ります。	0531-22-3936 滝頭公園管理事務所

※桜の見頃は例年の開花時期です。気温や天候等の条件により異なります。

●詳しい情報は愛知県観光協会のホームページ

(<http://www.aichi-kanko.jp/index.asp>) からご確認いただけます。



## スタッフ紹介 ～事務局 柿田佳邦～

支援センターのスタッフがどのような経緯や思いでセンターの仕事をするようになったかを紹介していきます。第9回は事務局スタッフの柿田佳邦です。



センター勤務もはや4年、少ないスタッフの中で2番目の古株になりました。年齢も2番目です。定年後は、長年会社で担当してきた仕事で、シニアの青年海外協力隊に参加しようと思っていましたが、3.11の震災を機に海外から国内の活動に変更し現在に至っています。

私は愛知県の東（東三河）生まれで、現在は岡崎（西三河）に住んでいます。ゆえに愛知県ことは、十分に知っていると思っていましたが、名古屋・西部地域は全く知らない事だらけであると仕事を通じて思い知らされました。例えば、センターの活動に全面的に協力してくれる飛島村が伊勢湾台風で大被害をうけたこと、公立の小中一貫の学校がある、財政豊かな村であることなど知りませんでした。

センターでの私の仕事は、三河地域での交流会・懇談会等の運営とセンターPR・定期便発送業務などをボランティアの皆さんの協力を得ておこなっています。

私の趣味は、軽登山＝安全な登山（日本百名山踏破を目標、残り8山）と青春18切符を使った廉価な旅行、親戚の農業支援等幅広く、第二の人生を多忙に過ごしています。お会いした時には、気兼ねなく声かけをしてください。持てるノウハウはトコトン提供します。

## 支援センターからのお知らせ

### <4月の交流会等イベントカレンダー>

4月	イベント名	開催地域
5日	めぐりあい交流花見会	名古屋市熱田区
9日	里山を歩きましょう	岩倉市

- 詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。  
皆様のご参加をお待ちしております。

### あおぞらに関する <宛先>はこちら

(表紙の絵、ご意見・ご感想など)

〒460-0001  
名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎1階  
愛知県被災者支援センター  
TEL : 052-954-6722  
FAX : 052-954-6993  
E-mail : aozora@aichi-shien.net

